

かながわLTC ネットワーク 設立趣意書

I. 設立経緯)

近年、在宅地域においては、認知症の当事者や介護されているご家族、または認知症に関心のある人や医療・介護・福祉の専門職など、誰でも参加して認知症の理解を深めることを目的にした認知症カフェ（オレンジカフェ）や、お酒を酌み交わしながら認知症を語り、交流を深め活動（オレンジバル）が各地で行われている。

しかし介護施設の現状を散見と、新型コロナウイルスによる感染症対策が優先され閉鎖的な環境が作られ、さらに慢性的な介護職不足を背景として、ご利用者に生活のしにくさを感じさせ、職員の倫理観を持ったケアが十分できないといったジレンマを生み出していると思われる。

加えて、他事業所の従事者等の関りが少ない状況も否定できず、結果として各施設が不適切ケアや高齢者虐待などの課題の解決策見いだせず、時代に逆行している現状があるのではないかと危惧している。

そのような背景から、①認知症の人や介護職員の願いが叶えられる介護の実践を可能にする知識と技術を獲得する研修会の開催や、②施設職員の悩みを語り合う場を造り、その語りを通して士気を高められるようサポートしていく③認知症当事者やご家族からご意見をいただく機会を持つ などの適切な活動を通して現状の施設の課題解決の一助となりうるネットワークを立ち上げたいと考えた。

II. 名称

かながわLTC ネットワーク

※LTC とはロング・ターム・ケアの略。

- ・ロング・ターム・ケアとは、長期ケア施設（特養・老健・療養型・グループホーム等）でのケアを指す。
- ・本ネットワークは、前文の「設立経緯」にある介護施設の現状があるなか、認知症基本法が策定されたことも踏まえ、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるように、『意思決定支援』『権利擁護』の取り組みを発信していきたい。

III. 企画・立案・運営

1. 本ネットワークは、神奈川県認知介護指導者・の拘束なき介護推進委員・ネットワーク活動に賛同された人が地区別にグループを構成し趣旨に沿った活動を行う
2. 自分が所属する地域グループの施設介護サービス従事者を対象に下記の内容などを企画・立案し、運営を行っていく

3. 地域ブロック構成とブロック長

横須賀

三浦・葉山

鎌倉

茅ヶ崎

小田原

藤沢

相模原

4. 企画や運営をネットワークの仲間に助言、相談を行える体制を整える
相談や実施予定や結果については、メッセージ（SNS）を活用し仲間同士の情報共有を常時行う

5. 開催にあたっては、参加希望者が気軽に参加できる環境とする

1) カフェミーティング

2) 研修会

3) 座談会（バルミーティング）など

また企画にあたっては、認知症介護の質の向上と従事者の社会的地位の向上に寄与する効果が得られ、継続的に実施できる内容となることを期待したい

令和6年11月10日

設立代表者 松浦 美知代

設立協力者 佐野 芳彦 嘉山 武志